



祝！アカッコ館 30 周年！毎月 30 日は入館無料

あかっこ



あかっこはインターネットでカラー版が見られます。http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/

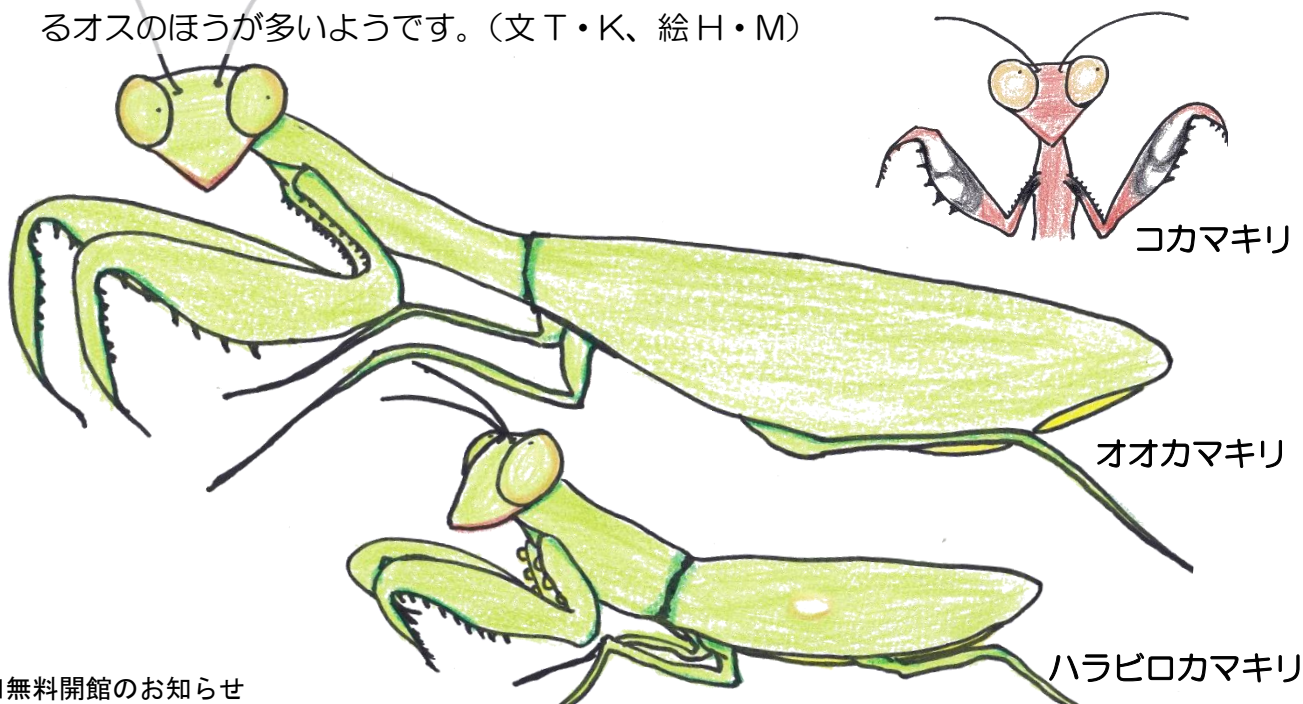
秋に目立つ昆虫界きっての名ハンター「カマキリ」

大きな鎌をもち、獲物を捕らえるカマキリ。その勇猛な姿は人気がありますね。秋頃になると、花の近くや葉の上などに潜み、獲物を待ち伏せする大人のカマキリがよく見られます。

カマキリの仲間は、4月頃に卵からかえり、脱皮をすることで成長します。そして9月頃には成熟して産卵を行い、卵で冬を越します。

三宅島の草地では「オオカマキリ」「コカマキリ」「ハラビロカマキリ」がよく見られます。オオカマキリは10cm近くにもなる日本で最大のカマキリです。コカマキリは6cmほどで鎌の内側に白黒の模様があります。ハラビロカマキリは、コカマキリより少し大きく、他の2種と比べるとずんぐりとした体型です。また、カマキリには体が緑色のものと茶色のものがあり、種によってその比率が異なります。コカマキリは茶色が多い種なのですが、三宅島では緑色のコカマキリもよく見られます。

余談ですが、カマキリといえば、交尾の時にメスがオスを食べてしまうという話が有名ですね。しかし実際には、食べられてしまう確率は10~30%ほどで、生き残るオスのほうが多いようです。(文 T・K、絵 H・M)



コカマキリ

オオカマキリ

ハラビロカマキリ

■無料開館のお知らせ

パードアイランド三宅島にちなんで、毎月酉（鳥）の日が入館無料になります。

9月の無料開館日は12日（火）、24日（日）です。また開館30周年記念で毎月30日は無料開館です。

三宅島自然ふれあいセンター・アカッコ館

2023.09 vol.318

■開館 9:00~16:30 ■休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）■利用料 200円（中学生以下と65才以上は無料）

■〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田 4188 ■TEL 04994-6-0410 ■FAX 04994-6-0458

■E-mail miyakejima@wbsj.org ■HP <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/>（こちらからはカラー版をダウンロードできます。

こちらのQRコードからアカッコ館ホームページにアクセスできます→



秋のフィッシュウォッチング in 長太郎池

黒潮によって運ばれてきたカラフルな魚たちの観察を楽しもう！

参加費
無料

- 【開催日】9月16日（土）、30日（土）
- 【時間】10：00～11：30
- 【場所】長太郎池（海況等により他の海岸になる場合があります）
- 【対象】ひとりでシュノーケリングができる人
- 【定員】5名（要申し込み） 申し込み〆切は各回前日まで
- 【持ち物】シュノーケルセット、水着、飲み物、着替えなど
貸し出し用のウェットスーツ（子供サイズ）、
シュノーケルベストもあります。お気軽にお問い合わせください。



秋の大路池ガイドウォーク

レンジャーが秋ならではの大路池の自然を紹介しながらご案内します！

- 【開催日】9月17日（日）、23日（土・祝）
- 【時間】① 9：00～10：00 ② 13：00～14：00 ※各回内容は同じ
- 【対象】どなたでも
- 【参加費】入館料として200円
- 【定員】8名 ※先着順 開始時間までにアカコッコ館にお越しください。
- 【解散】大路池南側栈橋

●「ホバリング」の達人 チョウゲンボウ



三宅島では秋に見られるハヤブサの仲間。ハトほどの大きさで、くりくりとした目が可愛らしい猛禽類です。

空港や海岸沿いの草原で電柱や枯木の上など見晴らしの良いところによく止まり、ショウリョウバッタやオオカマキリなどの大きな昆虫をよく捕まえています。

また「ホバリング」と呼ばれる、空中で静止する飛び方が得意で、そこから急降下して獲物を捕まえます。キュートな見た目とは少しギャップがある、ダイナミックな狩りの様子は、さすがは猛禽類ですね。

お申込み・お問い合わせ
アカコッコ館 TEL：04994-6-0410 MAIL：miyakejima@wbsj.org